

1年生生活科遠足

～ 10月5日(火) 稲荷山公園まで元気に遠足 ～

秋色が次第に濃くなっていく中、1年生が生活科遠足を行いました。
稲荷山公園や行き帰りで、見るものすべてに好奇心いっぱいの子
どもたち。「自分たちの住む町を知ること」「秋の自然に親しむこと」
そして、何より「友達と長い距離を歩きとおすこと」ができました。



秋晴れの空の下、稲荷山公園まで歩いた後、展望台から千曲市の様子を眺めました。



草むらに入ると、コオロギやバッタ等、秋の虫がたくさん見つかりました。満足!!



草原を友達と一緒に転がり降りる遊びを、時間を忘れて繰り返し楽しみました。

十数年前から、小1プロブレムという言葉聞くようになりました。これは、「入学したばかりの小学生が、教室で座っていられなかったり、集団行動が取れなかったりして、学校に適應できないでいる状態」を指しています。

どの学校でも、1年生の指導は大変だという話を聞きますが、この日の1年生の様子を見て、半年間で大きく成長してくれたと、うれしくなりました。

1クラスの人数が学校一の1学年ですが、担任・学習習慣形成の先生の指導とともに、ご家庭の学校教育へのご協力があったからこそだと、感謝しております。

学校生活でも、よい姿が見られます。

チャイム(時限)により、すぐ頭と心を切り替え、次の学習に取り組む。
ルールを守って学校生活を送る。
給食や掃除で自分の役割を果たす。
友達のこと考えて、仲良く遊ぶ。

1年生の後半、さらにこうしたよさを伸ばし、2年生に進級してください。

2年生が屋代町を花いっぱい



6月公開参観日で屋代を語る会の皆さんと植付けをした花が大きくなり、5日(火)みんなで街の何箇所かに飾りに出掛けました。

小1プロブレムのような課題が指摘される中、小学校にスムーズに移行するためのある研究レポートから、入学前に育てたい能力を紹介します。

1年生の生活を充実させるために

1年生の皆さんはできていますか？ 発達障害等が疑われる場合には、なかなか身に付かないこともあります。あせらず少しずつ成長していきましょう。

基本的な生活習慣を身に付ける。

規則正しい生活リズム（食事・睡眠等）、身の整理（片付け・身支度・衛生等）を自分の力でできるようにしていきましょう。自分でできなければ、先生や友達に手を借りることになってしまいます。



集団のルールを守る。

あいさつをしっかりとしましょう。安全への配慮（交通ルール・善悪の判断等）もできるようになりましょう。また、友達と一緒に遊び、よいところは認め、悪いと思ったら謝ることができるようになりましょう。

集中して取り組む。自分の思いをコントロールできる。

嫌いなこと、苦手なことにも取り組むことができるでしょうか？ また、多少、嫌なことでも、みんなでしているときは、がまんできるでしょうか？ 自分の好きなこと以外でも、がんばる力をつけましょう。



人の話を聴く。自分の思いを言葉にして伝える。

話を聴くことは、相手の思いが分かることにつながります。また、思いを伝えることで大切なことは、嫌なことは嫌と言えること、そして、正しい言葉遣いができることです。自分が体験したことを言語化したり、何をしたいか表現したりする力も身に付けましょう。



基本的な信頼感を獲得し、役に立っているという自己有用感をもつ。

私たちは、この子が認められる体験、認められる満足感、よさが発揮できる場をつくり出し、自尊感情を育てる中で、信頼関係を築いていく必要があります。認められる喜びを感じながら、取り組んだことは、あきらめず最後までやり遂げるようになってほしいものです。

自分で考えようとする力を高める。

指示で動くのではなく、自分で考える力を付けましょう。生活や遊びの中で、時期・時間に関心をもって行動しようとすることも必要です。

